

持続可能なきょうだい児支援であるために 行政との連携について考える

アンケート集計

2024年2月23日(金・祝)
かながわ県民センター2階ホールにて
当日参加者：51名
録画配信申込：100名
* 2024年3月31日まで録画配信

認定NPO法人スマイルオブキッズ

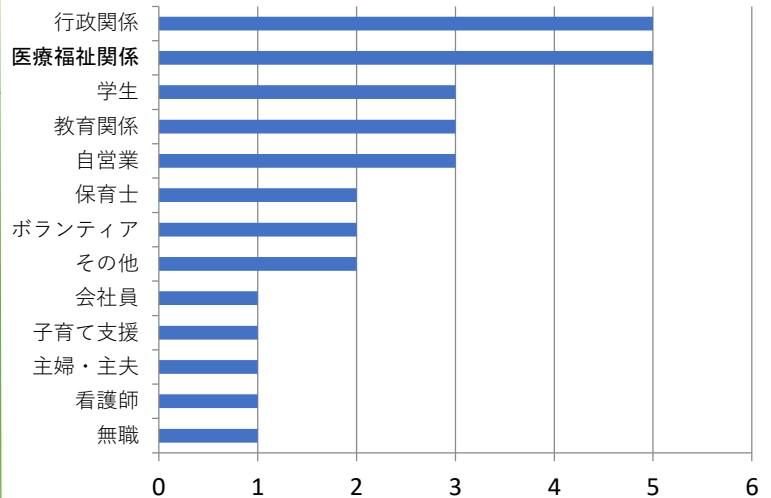
● 回答者内訳

当日会場で参加した -----26人
録画視聴のみ -----4人

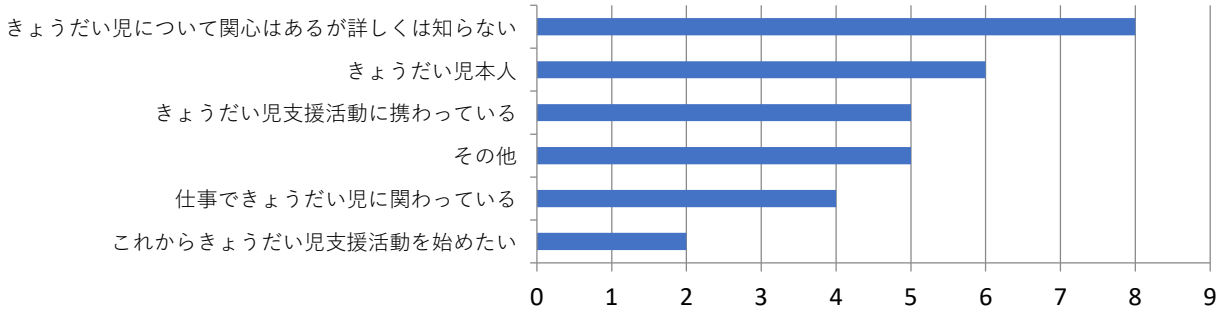
● この会を何で知りましたか？

スマイルオブキッズからの案内 -----11人
配布・掲示チラシ ----- 6人
他団体・個人のSNS -----5人
スマイルオブキッズのSNS -----3人
知人の紹介 -----3人
新聞・ラジオ等 -----2人
その他 -----2人

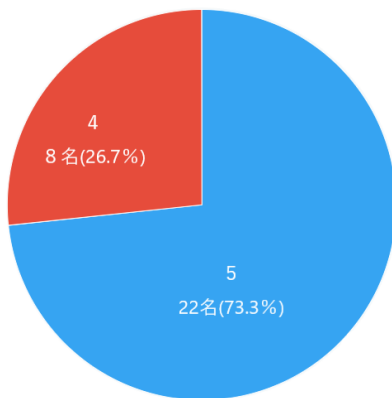
● 職業を教えてください



● どのような立場でのご参加ですか？



● 第一部講演の満足度はいかがですか？ *5段階評価

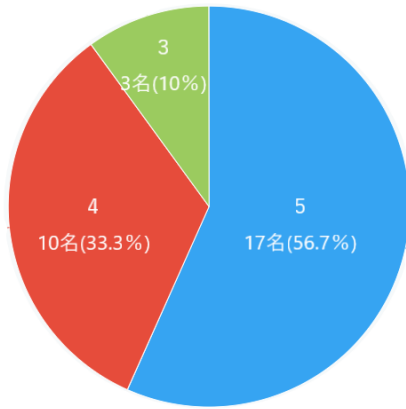


< 満足度の理由や感想から抜粋 >

- ・きょうだい支援の最前線かつ大活躍されているしぶたねさんのお話は、いつ聞いてもホッとします。そして、きょうだいの心に寄り添ってくれていると実感するので安心します。
 - ・「苦しくなった人はそれだけ頑張ってきたんだよ、って自分に対して褒めてあげてください」という言葉が非常に印象的だった。高校の時にきょうだい児支援について調べていてしぶたねさんの存在は知っていたが、直接お話を聞いたのでとても有意義な時間になった。
 - ・しぶたねさんのお話はいつもあたたかくて深くて、きょうだい支援の原点に立ち返れます。何度でも聴きたいお話です。
 - ・当事者目線で語られ、支援の必要性を実感できました。
- ・ 活動内容やその背景、保護者の方々への思いも含めた内容の濃い講演でした。
- ・ 短時間にきょうだい児の置かれている状況・心境の多面性、またしぶたねの取り組みの主眼点を伝えて下さった。内容が豊富で時間が足りなかったのではないかと。パネルDでも同様に感じたが、きょうだい児支援の必要性、現況、取り組みの視点と、もう一方で制度施策的な現況を示す面と二面を扱うことになるので、二義的な要素の話にならざるを得なかったと感じました。

● 第二部パネルディスカッションの満足度はいかがですか？

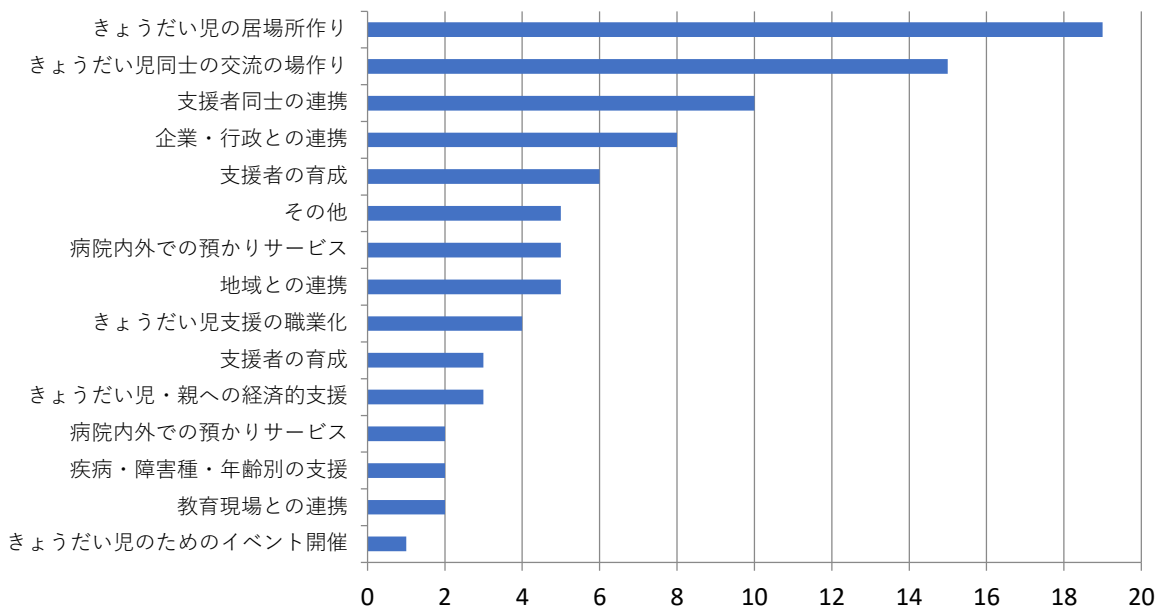
*5段階評価



<満足度の理由や感想から抜粋>

- ・それぞれの登壇者のお話はとても参考になりました。
 - ・ヤングケアラーという言葉が浸透してきている中、きょうだい児はあまり知られていないとの話がありました。私の周囲でもまだ知られていないことが多いので、私自身も周知していきたい。
 - ・団体の運営費、スタッフやボランティアの件費、行政や企業とのつながり等、数多くの課題を抱えつつ、数十年も活動を継続している団体の言葉は色々な意味で重かった。
- ・色々な発表があり、とても良かったです。現場の素晴らしい取り組みや、また、今回は横浜市役所の行政の方が参加して下さい、希望を感じました。ありがとうございました。
- ・今回は特に行政を巻き込んでいくという視点が明確にあり、具体的な次の一歩について考えることができました。実際にそのハードルを超えようとしていらっしゃる方々、そして行政側の方々、双方のご参加があったことが良かったと思います。また、司会の方も、論点をうまくまとめて回していただき、わかりやすく良かったです。
- ・行政と連携し、きょうだい児支援を行っている自治体もあるものの、資金面でも大変苦労されている現状を知りました。やはり、世間で知られることが、具体的な支援に必要なリソースを生み出すのではないかと思います。
- ・行政に相談する際の窓口がどこなのか分からなかったもので、参考になった。身近な行政は横浜市ではないものの、アプローチの仕方などについてはこちらで取り入れられるものもあり、大変勉強になった。
- ・支援の実際については、こどもホスピスとリラのいえのきょうだい児保育の2か所だったが、それぞれの意義と特色を理解することができた。テーマの「行政」に関しては横浜市の、そして乳幼児「保育」に絞られたが、新たな取り組みの紹介もあって、話題性はあったと思います。ホスピスやリラのいえのきょうだい児保育とはどうも直結はしそうなように思いましたが、今後の可能性（横浜市に限らず）への示唆はあったように感じました。後半の司会の方の質問以降で、開催テーマに肉薄できたように感じました。
- ・うみそら、リラのいえの取り組みは素晴らしいと思いました。しかし「行政との連携について」を考えたときに、正直参考になるお話が聞けず、横浜市の取り組みも連携ですが、市の取り組みが主だったように感じました。ということがきっかけで連携に繋がったのが難しいことなので、そこを知りたかった。でも取り組めてることは素晴らしいです。

● これからのきょうだい児支援のために特に重要だと思うものを3つ選んでください



●きょうだいさんへのメッセージ *個人が特定される可能性のある記述は一部編集させていただいています

ひとりじゃないよ！

いつもありがとう

いつも気に掛けています！

たくさん楽しいことして遊ぼうね。

ひとりじゃないよつながろう

支えてくれる人、わかってくれる人はきっといます。一人で頑張らないで。

自分の進みたい道を歩んでください。

ちょっとだけ我慢して、でも、困った時は誰かに伝えてね。

少しずつだけれど、みんなのことを理解して応援しようとしてくれる人たちは増えてます！！みんなでつながろう！！

いつもあなたのことをたいせつにおもっています。ひとりじゃないよ。

あなたは何も悪くないよ。あなたは1人じゃないからね

あなたに寄り添ってくれる人が必ずいます。自分の気持ちを伝えられる人を見つけてください。

きょうだい児について、世間で知ってもらえるように努力します。障害福祉を志す学生も、きょうだいさんを応援しています。

きょうだいさんにとってワクワクする時間が増えて、いろいろな気持ちがあっていいんだよと伝えていけるように、大人たちはこれからもがんばります！

兄弟双方への心理的ケアが等が十分になされると良いと思います。困ったときは早い段階でアサーティブにご自身の気持ちを専門の方にじっくり相談されることをお勧めいたします。そのための資金・仕組み作りなど行政が主導できるとよいのではないのでしょうか。

まだ届いていないかも知れないけれど、たくさんの大人達が、きょうだいさんの為にとがんばっているよ！きょうだいさんが頑張っていること、知っているから、安心してね。

普段の業務では自身がきょうだいさんに関わることがありません。でも、みなさんがどんな状況にいらっしゃるか知ることはとても大事であると思いました。今後何かお話する機会がもしあれば、少しでも力になれるといいなと思います。

患児に目を向けがちですが、きょうだい児の方も苦しんでいるということがわかりました。多くの理解者が増え、自分らしく生きられる社会になりますようにと願っています。

みなさんのことを考え、なにかしたい、支えたいという大人がたくさんいます。今はさみしさや、言葉にならない気持ちもあったりするかもしれませんが、大きくなっていく途中でも、心に引っかかることが出てくるかもしれません。いま過ごしている生活のことは、大きくなっていくにつれて薄れていくかもしれません。けれど、ふとした瞬間に「あのとき楽しかったな」「いろんな大人と遊んだな」「もしかしたら、たくさんの人に見守られていたのかな」と、一瞬でも思ってくれたら良いなと思っています。みなさんの幸せを願ってがんばる大人の一人になれるように、わたしもがんばります。

今はあたり前だと思って生きていても、ふと周りを見た時に自分の生活環境がみんなと違うと気付く時が来ると思います。そんなとき、考えすぎずに子どもらしくわがママを言ったり自分の気持ちを素直に伝えたりしてください。もっと生きやすい社会になりますように☆ミ。

自分が何をしたいのか、自分がどうなりたいたいのか、自分が何を好んでいるのか、それをまず見つけてください。周りに気を遣わなくていいから、自分の意思を探してください。思ったこと、感じたことを大切に。今この時を大切に。

●シンポジウムの運営についてのご意見より抜粋

* 貴重なご意見ありがとうございます *

・ステキな企画の運営をありがとうございます。きょうだい支援のシンポジウムを毎年開催してくださっていることは本当に素晴らしく感謝の思いでいっぱいです。お疲れさまでした！

・バズセッションで近くの方と話すのはなあ、と思ってましたが、話してみると、皆さまの思いがわかった。

・周りの方々と交流することで、皆さん様々な立場からこのシンポジウムに参加されていると感じた。それぞれの立場によって観点や受けた印象は異なると思うので、そこをもう少し共有出来る時間があれば良かったと思う。

・会場参加者の話合いの時間が、自己紹介するくらいで終わってしまったので、交流を目的とするならばもう少し時間があつたらよいかもかもしれません。でも、短時間でもいろいろな方が参加していると実感できたので、大切な時間でした。

・講演者の方と直接お話出来る機会が設けられていれば嬉しかったです。

・シンポジウム開催意図や必要性は多岐にわたる可能性がある（日本のきょうだい児の現況、支援の必要性や取り組みの現況、施策や制度との関連、当事者の意見、支援側の声、今後のニーズと方策・・・）。当事者団体や支援組織も増えてきているようなので、今後への見通しをつけつつ、何か課題解決に結びつくような計画はいらないでしょうか。

行政との連携という、支援されてきた方には現実的なテーマでしたので、会場にはそれなりの問題意識をもって参加の方もいたのではないのでしょうか（クロストークでそんな方も）。それらの方々の質問や意見を受けとめるようなこと（事前質問、事後に連絡をとる）もできたらよかったのかもちょっと感じました。

経年的にシンポジウムを開催しきょうだい児支援の輪を広げてきているご努力には頭が下がりますし敬意を表させていただきます。

* 全体総括 *

第5回目のきょうだい児支援シンポジウムにたくさんのご参加をありがとうございました。

また、アンケートにご回答いただいた皆様に心より感謝いたします。

2019年に第1回目を研修会として開催して以降、コロナ禍で対面の交流ができないことが続きました。

今回は50名以上の方に会場に足をお運びいただき、きょうだい児支援に関心を寄せられる方々が同じ気持ちで分かち合う温かな雰囲気を感じていただくことができました。

録画配信は全国各地からお申込みがあり、再生回数は148回でした。

今回テーマとした「行政との連携」は、当法人のきょうだい児保育でも大きな課題としています。

しかし、連携事例が少ないことや、どのように進めて行けば良いのか分かりにくいこともありハードルが高く感じていました。

シンポジウムでは連携のきっかけや具体的な窓口について教えていただくことができたので、そのことが励みとなりイメージが浮かんだとおっしゃっていただいた方も多くありました。

私たちとしても、全国で展開されているきょうだい児支援や家族支援の取り組みを知り、さらに地元横浜市での新しい動きなども知って、今後の活動に向けてヒントを得ることができました。

きょうだい児預かり・保育に関するニーズ調査の結果分析も進めながら、少しずつでも安定した持続可能なきょうだい児支援の実現に向かっていきたいと思っております。

このシンポジウムが、皆様にとっても初めの一步を踏み出す機会となりましたら幸いです。

あらためまして、ご参加の皆様、ご登壇いただいた皆様に心よりお礼申し上げます。



認定NPO法人

スマイルオブキッズ